



大聖勝軍寺

担当班 4 班

- 実施日：2022 年 10 月 14 日（金） 天候：快晴 参加者：75 名
- 集合：JR八尾駅とメトロ八尾南駅に2グループにわかれて10時に集合 解散：15時頃
- 行程：A・Bグループ JR八尾駅—安中新田会所跡—渋川神社—物部守屋墳稻城跡—大聖勝軍寺（昼食・写真・班長会）—鎬矢塚—弓代塚—樟本神社—防災公園—メトロ八尾南駅（C・Dグループは逆コース）

飛鳥時代に仏教の礼拝を巡って 蘇我馬子に聖徳太子が加わった崇仏派（仏教）が、物部守屋を中心とする排仏派（神道）に攻め入り争った「丁未の乱（ていびのらん）」は、八尾が戦いの舞台となりました。今回は「丁未の乱（ていびのらん）」を舞台とした物部氏、聖徳太子にゆかりのある場所に加え、文化的・歴史的に貴重な安中新田会所跡旧植田家住宅などを、ボランティアガイドさんと一緒に訪れました。以下、代表的なところでは、

- ①大聖勝軍寺（たいせいしょうぐんじ）：聖徳太子は物部守屋を滅ぼすため四天王を祀り、その加護により勝利したので難波の高台に四天王寺を建立、この地に勝軍寺を創建しました。
- ②物部守屋大連墳（もののべもりやおおむらじ）：物部守屋の墓碑で、墓の周りの玉垣を見ると全国の著名な神社が寄進しており、守屋が神道にとり大きな存在であったことが分かります。
- ③鎬矢塚（かぶらやづか）と弓代塚（ゆみしろづか）：聖徳太子の命を受けた迹見赤檮（とみのいちい）が守屋を射止めた際の「鎬矢を納めた所」と「弓を埋めた所」と言われています。
- ④渋川神社：物部守屋の家の跡ともいわれ、境内には樹齢千年の大クスノキがあります。
- ⑤安中新田会所跡旧植田家住宅（やすなかしんでんかいしよあと）：植田家が居住していた屋敷は、「会所」としても使用されていました。「会所」とは新田の管理に使われた建物です。



聖徳太子と四天王像



物部守屋大連墳



鎬木塚



弓代塚



渋川神社の大クスノキ



安中新田会所跡旧植田家

《一口メモ》

- ・ボランティアガイドさんの巧みな解説で聖徳太子の歴史舞台を訪れることが出来て良かった。
- ・長年大阪に住んでいますが八尾のことを全然知りませんでした。ガイドさんから古戦場や聖徳太子のお話をいろいろ聞け、良かったです。
- ・八尾という町は八尾空港が出来たことにより発展していった。物部守屋、聖徳太子のゆかりの地でもあり、その時代にタイムスリップ出来た気がしました。
- ・地下鉄・JR・私鉄ケーブル・飛行場のある町。初めて訪れましたが魅力的な街だと思いました。また、立派な樟木に感動しました。
- ・聖徳太子のゆかりの地であることなど知らないことが一杯。分かりやすいガイドさんのお話がとても良かったです。